



TEAMS-BP (Training for Effective & efficient Action in Medical Service-Better Process) 『業務の改善の仕方』研修会の報告

平成26年6月21日(土)に『業務の改善の仕方』研修会を開催しました。

本研修は産業界で実績のある「TWI」の手法をもとに、筑波大学附属病院が開発した「TEAMS」研修のうち、仕事の改善の手法を習得するためのものです。

業務内容を細分化・簡素化し、順序や組み合わせを工夫することで業務を効率的・効果的に改善します。



◇研修会の内容

今回の参加者は医師3名、看護師4名の計7名でした。

まず、日本産業訓練協会の山口和人先生から、レクチャーを受けました。医療現場での業務改善事例の映像なども用いて、業務の改善の仕方に

は4段階あり、作業分解、分解した作業ごとの自問、新手法の展開、新手法の実施の順で行うことを学びました。

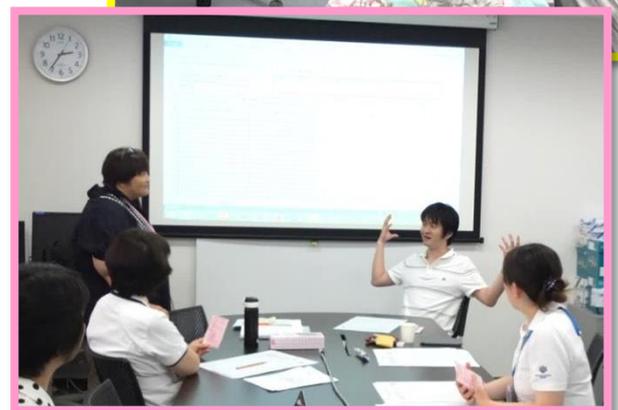
『業務の改善の仕方』では「作業分解シート」を使い、作業を分解し具体的に言語化します。分解した各作業について、5W1Hを自問することで新しい方法を展開し、最後に周囲の理解と協力を得る方法を考えていきます。



◇実践

午後は2グループに分かれ、午前中に学んだ『改善の方法』を実践し話し合いました。事前に各自が用意しておいた題材で、自分の業務上で実際に改善したいと思っている課題に取り組みました。

多職種で話し合うことで、様々な視点からの改善案が出されました。



◇アンケート結果

参加者のほとんどがこれまでこうした研修に参加した経験がありませんでしたが、もともと関心は持っていたそうです。「多職種が参加したことで活発な意見交換となった」、「今後も業務の改善の手法を役立てていきたい」との意見が多くみられました。

朝、緊張した表情で来られた皆さんが、笑顔で帰って行かれたのが印象的な研修会でした。皆さんの業務に活用してもらえるといいな♡

